

~歳末たすけあい募金にご協力いただき、本当にありがとうございました~

今年度も皆様からいただいた「歳末たすけあい募金」で、お一人 暮らし高齢者の方等199名へおせち料理をお届けすることができ ました。この事業は、伯耆町の皆様のあたたかいお気持ちで行うこ とができています。配布当日は、民生委員、中学生地域貢献ボラン ティア(ゆめネット)として、岸本中学校、溝口中学校の生徒の皆さ んにご協力をいただきました。

年末おせち配布 ····································
R7社協会費のお願い
年末おせち配布、共同募金実績報告3
愛の輪運動推進会議4
福祉教育
マップづくり
デイサービスより
寄付者御芳名、寄贈ほか8

白耆町大殿1010 (岸本保健福祉センター内) TEL 0859-68-46 [生活困窮者自立支援事業専用ダイヤル] TEL 0859-21-0608 TEL 0859-68-4635 FAX0859-68-4634 ■本所 伯耆町大殿1010

[フィットネス&スタジオ パル] 直通 TEL 0859-68-4811 小規模保育所こどもパル 伯耆町大殿1081-7 TEL/FAX 0859-39-8211

■岸本支所・通所介護事業所・居宅介護支援事業所

伯耆町大殿1030-1(岸本老人福祉センター内) TEL 0859-68-3781 FAX 0859-68-4588 [通所介護事業所] 直通TEL 0859-68-3706 [居宅介護支援事業所] 直通TEL 0859-68-5200

■溝口支所・通所介護事業所・訪問介護事業所

伯耆町溝<mark>口2</mark>81-2 (溝口福祉センター内) TEL 0859-63-0666 FAX 0859-63-0660

■みぞくちテラソ

伯耆町溝口647 (役場分庁舎4・5階) TEL 0859-62-7110

発行 社会福祉法人 伯耆町社会福祉協議会 ■ホームページアドレス: http://www.houki-shakyo.jp/

令和7年度社会福祉協議会会費のお願い

伯耆町社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らしつづけることができるまちづくりを 目指し、共に支え助け合う地域づくりに取り組んでいます。

地域の皆様には、福祉事業へのご理解とご支援を賜り、できるだけ多くの方に会員になっていただき、共に支え助け合う地域づくりに一緒に取り組んでいただければと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

会員種類	対 象	金額	募集方法	募集時期(予定)
◎一般会員	世帯	—□1,000円	区長様を通じてお願い させていただきます	5月中旬~6月末
◎賛助会員	個人	─□3,000円	野込守によりの願いで	5月中旬~6月末
◎特別会員	会社・事業所	一□5,000円	せていただきます	10月~11月

令和7年度会費充当予定金額 2,597千円

☆福祉ネットワークづくり 589千円

- ・福祉委員活動への支援
- ・愛の輪推進会議の開催(民生児童委員、福祉 委員の合同研修)
- ・いきいきふれあいサロンへの支援

☆配食サービス

996千円

ひとり暮らし高齢者等に安否確認を兼ねて、週 2回(火・木)昼食弁当を配達しています。

☆広報啓発活動

228千円

広報紙を年間発行するとともに、ホームページ による情報提供や啓発を行います。

☆法人運営

81千円

社会福祉協議会を適切に運営していくうえでの、 理事会等の役員会を行います。

☆高齢者生きがい対策 424千円

- ・実りの会の開催(独居高齢者の集い)
- 友愛訪問の実施(独居高齢者への訪問)
 - ・緊急カード作成、配布

☆福祉地域座談会 239千円

各集落を巡回し、社協活動のPRや住民の皆 様と意見交換を行います。

☆支え合いマップづくり 6千円

地域課題の発見や日常的な見守り体制の構 築を図ります。

☆その他

34千円

- 地域福祉活動計画策定事業
- · 闲窮時食料支援事業

令和6年度 「特別会員」のご紹介

地域福祉活動を支える大切な財源として、企業・事業所・団体の皆様に特別会員へのご協力を お願いしております。令和6年度もご協力いただき、誠にありがとうございました。

(順不同・敬称略)

(有)藤本組 浜田呉服店 フジ化成工業株 フレッシュストアもりもと 飛田医院 株松本油店 美保テクノス株 山陰合同銀行株岸本支店

株会田工務店 E歯科クリニック 中島工業(有) 溝口タイヤ

下村歯科医院 伯耆町役場管理職会 伯耆町民生児童委員協議会 伯耆みらい (株)石崎石油 なんば商店(有) 鳥取西部農協溝口支所 鳥取西部農協岸本支所

木嶋動物病院 伯耆中央病院 Honda Cars 山陰中央伯耆店

今年は17名+10名の協力!

歳末おせち配布事業報告、中学生ボランティア参加報告

配布日 令和6年12月30日(月) 配布総数 199名(岸本:105名、溝口:94名)

当日協力者 民生委員17名、ゆめネット(中学生ボランティア)岸本中学校5名、溝口中学校5名

岸本中学校 2年:渡部 礼羅さん、1年:鞍掛 未采さん、手槌 成珠さん、

西尾 嘉笑さん、バーナード紗南さん

溝口中学校 3年:小早川 如実さん、太田 埜々華さん、1年:白根 大睦さん、

花田 渉さん、安達 美桜さん

町内の皆さまのご協力をいただいた地域歳末たすけあい募金を財源に、例年、一人暮らし高齢者等の皆さまに『歳末おせち配布事業』を実施しています。今年度は、中学生地域貢献ボランティア10名が協力してくれました。ボランティア活動依頼内容は、①おせち包装と仕分けのお手伝い。②自分の集落の配布対象の方に笑顔で手渡しによる配布を行うなどです。配達は職員と同行してもらいましたが、受け取られる皆さんが嬉しそうな表情で、わずかな時間ですが会話を楽しまれている様子が本当に良く伝わってきました。令和5年度からゆめネットへの募集を行い、年末にもかかわらず募集定員が必ず埋まります。社協事業は、福祉教育等で関係性はあるものの比較的若い世代と関わる機会が希薄でした。ゆめネットを通じて少しずつですが伯耆町社協として福祉の輪の広がりを感じています。こうしたことをきっかけにして世代間交流や小中学生のボランティアの心の醸成のための事業にも力をいれていきたいと改めて思うとともに、生徒の皆さんの純真な心に魅力を感じました。





【ゆめネット 活動後アンケート】

- ・おせちを渡す時に、みんなが笑顔だったので、とても嬉しかったです。地域をしっかり回った事がなかったから、今回楽しくおせちを配りながら、行った事がない所にも行けて良かったです。
- ・おじいちゃん、おばあちゃん達におせちを配りながら色々話したり笑ったりして、とても楽しかった。
- ・配った時に、笑顔で「ありがとう」と言ってもらえて嬉しかった。

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました 伯耆町共同募金委員会

~令和6年度 赤い羽根共同募金実績~(運動期間:令和6年10月1日~令和6年12月31日)

<u>伯耆町募金総額</u> 2,041,031_円

【内訳】

■赤い羽根共同募金総額 1,481,683円

(戸別1,369,606円、法人6,500円、学校29,402円、

職域19,442円、イベント12,392円、その他44,341円)

■歳末たすけあい募金総額 559,348円

(戸別495,670円、法人5,451円、イベント58,227円)



令和6年度愛の輪運動推進会議を開催しました!

毎年1回、福祉委員、民生児童委員の皆様を対象に「愛の輪運動推進会議」を開催しています。 今年は『伯耆町の地域福祉サービスとその活用方法+α~ひとりぼっちをつくらない地域を目 指して~』と題し、社会福祉協議会が展開する地域福祉サービスや地域の社会資源を知っていた だき、地域の実情に応じたこれからの福祉活動に繋げていくことを目的に、校区別で意見交換を しました。

近年、伯耆町においても、人口減少や少子高齢化、地域社会の衰退といった課題も深刻化しています。また最近の物価高騰なども相まって、高齢者、障がい者、ひとり親家庭など社会的に弱い立場にある方々が特に大きな影響を受けているという実態が浮き彫りになっています。またコロナ禍を経て、生活困窮や孤独・孤立等、様々な地域課題が顕在化しています。

研修の個人ワークとグループワークでは、地域生活の中で「もし今、ひとりぽっちになったら、自分が一番不安なこと、心配なこと、地域で不安なこと心配なこと」について、それぞれの思いを出し合い、最後は、日頃からの取り組みとして、「こんなことならできるかも」について、地域でひとりぽっちをつくらないための地域における支え合い活動について話し合いました。参加者からは、「ひとりになった時のことを考えることがなかったが、あらためて地域での人との繋がりの大切さに気付かされました。」 「助けを求めたくても声に出せない人がいるということも知った。何気ない声かけや見守りだけでも大きな力になれると思いました。」 「色々な人と話ができてよかった。日頃からのコミュニケーションが大事」といった声があり、住み慣れた場所で安心して生活していくためには、制度やサービスだけではなく、日頃からの地域での支え合いや見守りといった取り組みも重要になってくることを再認識した会となりました。

参加者から出た声

★自分への不安や心配ごと

話し相手がいないこと、健康、病気になった時、事故やケガの時、買い物や食事づくり、運転、防犯、運転、田畑の管理など

★地域への不安や心配ごと

何かあった時に相談できる人や頼める人がいないこと、集落の出役・役目、雪かき、行事やイベントの減少、ゴミ出し、車が無い時の買い物や通院、家や田畑の維持管理など

★できるかもしれないこと

声かけ、見守り、話し相手、訪問や安否確認、茶話会、ゴミ出し、草刈り草取り、雪かき、茶話会など

■ 八郷地区 2月18日(火) 総合スポーツ公園 14名■ 幡郷地区 2月19日(水) 保健福祉センター 13名

★幡地区 2月20日(木) 岸本公民館 13名二部地区 2月25日(火) 二部公民館 8名溝口地区 2月26日(水) 溝口公民館 26名

■ 日光地区 2月27日(木) 日光公民館 5名





令和6年度 福祉教育

福祉意識の育成を目的として、町内の小・中学校から依頼を受け、福祉教育に出向いています。令和6年12月17日(火)、八郷小学校の4年生児童8名が車いす体験を通して福祉について学びました。

2台の車いす(自走用・介助用)を 比べてみると、いくつかの違いがあ ります。よく観察して、違いを見つ けることができました。それぞれの 特徴を聞いた後は、2グループに分 かれて自走用の車いすに乗ってみま した。





車いすを広げて乗ってもらうところからスタート!声をかけるときは目線を乗る人に合わせることで様子をうかがうことができますね。

車いすに乗ってみると、目線が低くなるぶん動きが速く感じられたようです。曲がるときや止まるときに事前に声をかけてもらうと安心することができます。



体験を通して、声をかけ合うことや相手の思いを想像することの大切さを学ぶことができました。今回の車いす体験だけでなく、何気ない毎日のなかで「ふだんのくらしのしあわせ」を頭の片隅において生活をしてくれたら嬉しいです。素敵な時間をありがとうございました!

大倉集落で支え愛マップが完成しました!

大倉集落では鳥取県の令和6年度災害時における支え愛地域づくり推進事業補助金を活用し、 区長、福祉委員が中心となり、集落一体となって支え愛マップづくりに取り組まれました。

支え愛マップとは、災害時に誰かの手助け・声かけを必要とする人、声かけができる人、避難 先などの情報が書き込まれた地図のことです。あらかじめ支え愛マップを作っておくことで、災 害時には地域での避難に役立ちます。またマップの作成にあたり地域のことを皆さんで話合う中 「日ごろからのつながり、支え合い」を考えることにつながります。伯耆町では現在23集落で支 え愛マップを作成されています。

大倉は山間に位置する12世帯23名が暮らす高齢化65.2%の集落です。 支え愛マップづくり発起人の田中君政さんにお話をお聞きしました。



田中君政さん

きっかけは?~

福祉委員の時に研修会で支え愛マップのことを知りました。災害時のことを考えたときに日頃からの関係づくりや仕組みづくりの必要性を感じ、集落に提案しました。大倉は高齢者も多くなり、日中は若い人も仕事でいないため、横のつながりも作っておくこと、いざという時に共助の気持ちを誰もが持ってほしいという思いからでした。

作成した後の集落の変化はありましたか? 🤨

マップづくりでみんなと顔を合わせて話し合い、一緒に集落を散歩して危険な箇所や避難経路を確認し、声掛け担当などを決めたことで、みんなの意識が変わり、共助の心が芽生えました。住民同士のつながりがより強くなったと感じています。

これからの集落への思いは? ヘ

高齢者も多いので不安はあるが、日頃からの見守りや声掛け、訪問などを通じて、これから もみんなが安心して暮らしやすい集落でありたいと思います。





岸本デイサービス

クリスマス大感謝祭

1年間の感謝を込めて、令和6年12月18日~20日にクリスマス大感謝祭を開催しました。 オリジナルの「白雪姫」、「シンデレラ」の職員劇に皆さん大爆笑で、久しぶりのクリスマス会で 皆さんと楽しい時間をすごすことができました。

最後は職員が「切手のないおくりもの」を合唱し、皆さんに感謝の気持ちをお伝えしました。





新年会

新しい1年のスタートとして令和7年1月20日に開催しました。

職員が神主や巫女、今年の干支のヘビに扮して登場し、「岸本デイサービス神社」??に健康や安全を祈願して初詣の雰囲気を感じて頂きました。

今年も皆さんと元気に笑顔で出会えますように、手作りの「開運お守り」をプレゼントしました。今年も職員一同、皆さんに喜んでいただけるサービスを提供いたします。





元気の秘訣!みぞくちデイサービス

令和6年度も町内外よりボランティアの方におこしいただいております。年末のクリスマス会にもたくさんのボランティアの皆様におこしいただき、歌に楽器に踊りにと心和む楽しいひと時となりました!

また、利用者の皆様が毎日コツコツと協力しながら貼り絵で仕上げた迫力の干支「巳」も完成し、令和7年も縁起物にあやかり最高のスタートができました!作品は施設内だけでなく、だんだん祭りや溝口春の彼岸市でも展示させていただきます。

ボランティア紹介(敬称略・順不同) 森の幼稚園みちくさ ゆうゆうブラザーズ 立花 敦子 唐仁原俊彦・阿部 信







ご寄付ありがとうございました

令和6年11月1日~令和7年2月28日

藤安内石西松住加遠米吉遠森清杉森島勝伊渡伊 上吉藤 原田田崎村本田川藤 原川藤 水川 安 藤辺藤 部 貝 田 本 陽雅和靖友涼教啓道 英 令 健 啓 克 美 きみ 和 識 明明透 子 穂 志 子 子 穂 子 郎 様 様 様 様 様様 様 様 様様様様様 様 様 様 様 様 様 \equiv 殿 (須 7 遠 **沂** 溝 谷 五 遠 天 Ď 部 内 町口

大切に使わせて いただきます

令和6年12月11日に鳥取西部 農業協同組合女性会岸本支部様 より、12月13日に溝口支部様よ り、それぞれお米をご寄贈いた だきました。

いただいたお米は、配食サ-

ビス事業のおり 弁当等に使わ せていただき ます。ありが とうございま した。



チャリティー募金の寄付について 伯耆町共同募金委員会

寄付者:森と清流の里実行委員会 様 寄付金額:43.362円 令和6年11月3日(日)、『ふれあい祭り』がガーデンプレ イスで開催されました。チャリティー事業として、恒例の ふれあい汁"と"餅つき大会"に参加させていただき、例 年どおりの長い行列ができ大賑わいでした。このチャリティ -事業の収益は、伯耆町共同募金委員会が寄付を受け、赤い 羽根共同募金として、翌年度実施される町内のふくし活動 (高齢者団体事業、学校花いっぱい運動ほか) に活用させて いただきます。

寄付をいただきました森と清流の里実行委員会様、共同募 金にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございま した。





新規採用職員



居宅介護支援事業所 岡部 賢太 (介護支援専門員)

~いつもありがとうございます~

令和6年10月26日(土)、シルバー人材センター会員 の皆様に、岸本老人福祉センター前庭の剪定、除草作業をし ていただきました。

毎年、皆様の丁寧な作業で綺麗にしていただき、利用され る皆様にも喜んでいただいております。







